

# 令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社マジスティック
公演団体名	平富恵スペイン舞踊団

内容
<p>フラメンコ「みる・きく・やってみる」ワクワク体験教室（小学校用） フラメンコ「みる・きく・やってみる」ワクワク体験講座（中学生用）</p> <p>【ごあいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 代表者自己紹介・舞踊団メンバー紹介。</li><li>● スペインにまつわるクイズ（地理、名所、特産物、文化、スポーツなど）を出題。児童生徒さんに答えてもらい、スペインに関する知識を共有します。</li><li>● ワークショップ内容を説明。</li><li>● 日本とスペインの文化の違いを紹介。（スライド使用）<ul style="list-style-type: none"><li>➢ スペインの挨拶「左右の頬と頬をくっつけて挨拶」を実際に見てもらい、児童生徒同士、または先生と挨拶体験をしてもらいます。（*コロナウイルスの影響により接触を控える場合は、お手本のみまたは実施しません）</li></ul></li></ul> <p>【スペイン舞踊とフラメンコの解説】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 踊りのデモンストレーション（舞台上/フロアにて舞踊団員が実演披露）</li><li>● 各踊りの特徴、音楽、衣装などの違いを解説（実演&amp;スライド使用）</li><li>● フラメンコ解説<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「スペイン舞踊」とは何か？どんな種類があるのか？</li><li>・ 「フラメンコ」とは何か？（音楽試聴&amp;クイズ形式。全員で楽しく探ります。）</li><li>・ 「スペイン舞踊」と「フラメンコ」の違いは？</li><li>・ 「フラメンコはどこからきて、どうはじまったの？」（最重要ポイント）</li><li>・ フラメンコの曲はリズムとメロディーで区別され、曲の形式や意味があること等。</li></ul></li></ul> <p>【体験コーナー】*全て解説とデモンストレーション有</p> <p>ワークショップ参加人数や学校様の希望にもよりますが、児童生徒を3-4グループに分け、グループ単位で、順番に全項目を体験してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● パルマ（手拍子）リズム/表・裏拍、アクセントの取り方体験。</li><li>● サパテアード（足踏み）/足の打ち方4種類を体験。 代表生徒は専用シューズを履き舞台上で。他生徒は、上履きで全員立ってその場で</li><li>● 足踏みダンス/手拍子、足踏み、回転、腕の動き、リズムによる振付ダンスに挑戦。</li><li>● カスタネット/音楽の時間に使うカスタネットとの違いを説明。実際に両手に持ってもらい体験。</li><li>● カホン/四角い木製のリズム楽器を実際に体験。リズムリレーに挑戦。</li><li>● ハレオ/フラメンコにはハレオという掛け声があり、どういうタイミングでどのように掛け声をかけたらよいのか、一緒に声出しを体験。</li></ul>

■ダンス経験がなくてもOKです。踊りと音楽に触れ、楽しんでもらえるように、また本公演鑑賞時にもっと興味が持てるように指導します。はじめは日常的な動きから、どのようにダンスの動きに変わっていくかを体験してもらいます。

■バラエティ豊かなメニューで多角的にスペイン舞踊を捉えてもらいます。

カスタネットやカホン等楽器も全員が体験できるようグループ制を導入しております。

■ワークショップで覚えたパルマ（手拍子）やカホン、ダンスなどが1曲として完成し、学んだことが形になる達成感や共演者・仲間との一体感を得られます。

代表の児童生徒は本公演の出演曲を練習してもらいます（ワークショップ後）

スペイン語圏の文化は、全世界的に多様性が求められるいま、圧倒的な存在感を示しているものの、日本では触れる機会が少なく馴染みがありません。スペイン語文化は、世界では中心に位置し、特に欧米では第二外国語・一般教養として定着し、日本との格差は大きいです。

未来に向け、世界は益々多様化する中、日本の児童生徒にこのスペイン文化である舞台芸術の素晴らしさに触れてもらいたいと願いプログラムを進行します。

\*コロナウイルスの影響によりワークショップ実施日程や時間、実施方法、内容等の変更が必要となった場合、それに応じた最適内容に変更し実施いたします。

#### タイムスケジュール（標準）

■前半 45分（中学校 50分）

「スペイン舞踊・フラメンコ」「フラメンコの起源と歴史」などの解説。

パルマ（手拍子）、サパテアード（足踏み）、足踏みダンス、ハレオを全員一緒に体験。

■後半 45分（中学校 50分）

グループに分かれ、カスタネット、カホンなど全種類を体験。

#### 派遣者数

主指導者 1名 + 補助者 5名 = 合計 6名

#### 学校における事前指導

事前の準備として、以下のご準備をお願い申し上げます。

● コンパネ板（ベニヤの薄い板 2枚程度。大きさ自由）

児童生徒のフラメンコシューズ体験時に必要となります。

フラメンコシューズは靴裏に釘打ちがあり床にキズがつきます。体育館床保護のため。

コンパネ板を踏み鳴らすことにより、児童生徒にフラメンコシューズが奏でる音や、音出しの楽しさを体感してもらいます。

● 舞台上および舞台袖の清掃・片付け

舞踊団員デモンストレーション、代表児童のフラメンコダンス披露、カホン体験の場として舞台・舞台袖を使用します。速やかな活動のために、恐れ入りますがあらかじめ掃除・片付けのご協力をお願いいたします。

# 令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## 本公演実施計画書

制作団体名	有限会社マジスティック
公演団体名	平富恵スペイン舞踊団

演目
スペイン舞踊「夢、フラメンコの粋と情熱」 1. マラゲーニャ 2. サパテアード  【あいさつ、スペイン舞踊の解説】 ・ごあいさつ、「スペイン舞踊」の解説 ・「カスタネット」解説とデモンストレーション  3. アラゴネサ  【フラメンコの解説】（デモンストレーション付） ・フラメンコの解説 ・フラメンコギターの紹介/解説 ・フラメンコカンテ（歌）の紹介/解説 ・カホン（打楽器）の紹介/解説 ・パルマ（手拍子）、ハレオ（囃子のような発声）、足踏みダンス体験  【休憩】  4. ムヘレス 5. タクトウタ 6. デリリオス・イベリコ 7. リトモ・イ・コンパス 8. ファンタシア 9. ヴェラ・デ・サンタ・アナ 10. アレグリアス 11. わくわく・de・フィエスタ 代表児童の演舞披露。 最後はフラメンコ生演奏で、全員で足踏みダンスをし、フィナーレを飾ります。  * コロナウイルスの影響により、実施日程や時間、実施方法、内容等の変更が必要となった場合、また学校様とのご相談により、児童生徒さんの体験時間を拡大する場合は、それに応じた最適内容に適宜変更し、実施いたします。

### 派遣者数

出演者：

舞踊家 9 名 + ミュージシャン 3 名（ギター 1 名、歌手 1 名、カホン 1 名） = 12 名

スタッフ：18 名

合計：30 名

### タイムスケジュール（標準）

搬入・仕込み（舞台設営）8:00～11:00

リハーサル 11:00～13:00

開場準備 13:00～13:45

開場 13:45

公演 14:00～15:45（1 部：40 分～45 分、休憩、2 部 50～55 分）

※1 部と 2 部の時間配分は 1 部で行う児童生徒の皆様の状況により、柔軟に対応させていただくためこのようにさせていただきました。

### 実施校への協力依頼人員

可能な場合、先生もしくは PTA の方 2～3 名に代表児童が衣装を着るときのお手伝いをお願いできればと考えております。

### 演目解説

#### ■前半

導入として壮大なスペイン舞踊（クラシコ・エスパニョール）を、変化に富んだ形式（フラメンコ正装、ショール、カスタネットなど）で上演。

フラメンコ解説と実演で理解を深めてもらう。

児童生徒は実際にパルマリズム（手拍子）とハレオ（囃子の発声）、足踏みダンスを体験して頂きます。

1. マラゲーニャ：キューバの作曲家レクォーナのスペイン各地をテーマにした組曲「アンダルシア」の中で最も愛されている名曲。風光明媚なマラガの女性を称えたメロディーは世界的に知られている。
2. サパテアード：サラサーテの名作。題名が示すサパテアード（足音）のみで様々なリズムを創り出し、その面白さを鑑賞いただく。

#### 【あいさつ、スペイン舞踊の解説】

ごあいさつ、「スペイン舞踊」と舞踊アイテムのカスタネットについて実演を交えながら解説。

3. アラゴネサ：作曲家ビゼーの名作「カルメン」組曲より。情熱的な女性「カルメン」の登場の場面としても親しまれている名曲中の名曲。

#### 【フラメンコの解説】

フラメンコのお話：フラメンコのギタリスト・歌手・打楽器奏者の実演を交え解説し、フラメンコとは何かを理解してもらいます。続いて児童生徒は実際に手拍子とハレオ、足踏みダンスを体験し、最終的に 1 曲を仕上げます。

#### ■休憩

## ■後半

スペイン舞踊をクラシカルなものからモダンなものへ、そして最後にフラメンコに移る流れで上演します。フラメンコにおいて特に重要な曲を選びました。フラメンコギター・歌・舞踊が持つ独特な迫力と醍醐味を実際に味わって頂きます。全体を通し、スペイン舞踊の過去からの時間的・種類的な変遷を感じられるプログラムにし、また各曲にテーマを持たせ（「夢」「絆」「人生」など）決して飽きることなく、想像力が膨らむ構成です。

4. ムヘレス：スペインの大作曲家ファリヤの名曲「ラ・ビダ・ブレベ（はかなき人生）」にのせて、ムヘレス（女性たち）の様々な生き方を表した作品。
5. タクトウタ：フラメンコ発祥の起源と言われるインドのタブラにのせ人の矛盾を表す。「君は僕の話の間こうとせず、僕は君に話をさせない。お互いに絶えず相手の話を遮っていたら…本当は、同じ思いを伝えたくて話している事に一生気付かないだろう。」
6. デリリオス・イベリコ：静寂とともに、一人の踊り手が闇から現れ腹鼓を鳴らし消える。突如爆音が響き、スペイン舞踊の形式でカスタネットを持った踊り手たちが、次々颯爽と踊る。続いて、曲はパルマ（手拍子）に導かれ、徐々にフラメンコのリズムに変化する。重なり、止まり、また走る。
7. リトモ・イ・コンパス：フラメンコの最重要曲シギリージャ。カホンとカスタネットの絶妙な掛け合いに注目！
8. ファンタシア：扇子を優雅に動かし舞う女性たち。突然表れたいたずら好き青年が魔法をかけるとたちまち皆の動きは止まる。しかし、面白がっていた魔法使い青年の最後の運命は…。ストーリー性のあるフラメンコ曲。
9. ヴェラ・デ・サンタ・アナ：帽子を被った粹な曲ガロティン。70年代アンダルシアのエッセンスの上に、研ぎ澄まされた現代感覚をちりばめ時代の融合を探った意欲作。
10. アレグリアス：スペイン南端カディス発祥のカンテ・アレグレ（明るい歌）を代表する曲。港町の美しい情景を彷彿させるフラメンコならではの明るく楽しい曲。
11. わくわく・de・フィエスタ：最後は、フィン・デ・フィエスタというお祭り形式で終ることが多く、ここでは、児童生徒代表が演舞を披露。その後、パルマと足踏みダンスを全員で踊り、楽しくフィナーレを飾ります。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップで覚えたステップの足踏みダンスを公演のフィナーレの本格的な演目としており、また、公演前半にも練習する時間を設けることで、全員が公演に参加できるようになっております。

## 児童生徒とのふれあい

代表生徒は、本格的な舞台に立ちます。まぶしい照明の中、衣装を纏い、実際に舞台上がります。観客の前で、ミュージシャンと共に、「演舞を披露」という日常にはない経験をします。最後は会場全員で、生演奏の曲を背景に体育館内一体となって足踏みダンスを踊り、フィナーレを飾ります。